

JA 筑前あさくら & 中村学園大学流通科学部

朝倉産農作物のおいしさと農家の想いを伝えます！

「おすそわけ袋」導入のお知らせ

中村学園大学 流通科学部（学部長 浅岡由美）は、流通業、マーケティング、ロジスティクス関連の知識や企業経営を理論と実践を通じて学び、即戦力として実社会で活躍できる人材育成に力を注いでいます。

流通科学部 手嶋研究室（商品開発）では、地域が抱える様々な課題に対して「商品開発」や「マーケティング」の側面から調査・分析・提案等に取り組み、地域発展の一助となることを目的に研究活動に取り組んでいます。

このたび、朝倉産農産物の市場拡大を目指す JA 筑前あさくらと共同企画した「おすそわけ袋」が完成し、販売促進ツールの一つとして導入されることになりましたので、ご案内いたします。

企画の発端は、昨年11月にJA筑前あさくらより朝倉地域の特産品の一つである「柿」の消費が落ち込んでおり、消費拡大に向けた相談を受けたことでした。JA筑前あさくらによると、同地域での果樹農家では、温暖化や高齢化、相次ぐ気象災害によって生産量が減少していることに加え、市場流通での価格低迷により、後継者不足が大きな課題となっています。

手嶋研究室では、柿に限らず、「日持ちがせず買い置きができないから」、「他の食品に比べて値段が高いから」、「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」といった理由から特に若い世代で果物摂取量が伸び悩んでいる一方で、老若男女問わず果物を「おいしい」「摂取を増やしたい」と考えている人が多いことを確認した上で、果物摂取量が多い中高年層から摂取量が少ない若年層へ、果物のおいしさを伝えるコミュニケーションツールとして「おすそわけ袋」の活用を提案しました。

今回製作した「おすそわけ袋」は、表面に自慢の農産物（ハートマークで表現）を笑顔で抱える農家のイラストと「福岡の『福』をおすそわけ♪」のキャッチフレーズ、裏面には肥沃な土壌と清らかな水に恵まれた福岡県朝倉地域でたくさんの愛情と手間をかけて育てられたことや、おいしい福岡の『福』を分かち合いましょう、というメッセージを記載しています。

「おすそわけ袋」は、7月よりJA筑前あさくら管内の直売所（きばる農産物直売所、旬菜ひろばとまと）と道の駅（ファームステーション バサロ、三連水車の里、みなみの里）、JA筑前あさくら主催の直売イベント等で箱等で購入された方に配布します。「おすそわけ袋」の活用によって朝倉産農産物のおいしさと農家の方々の想いがより多くの消費者に伝わり、消費拡大の一助となればと願っています。

朝倉産農産物の魅力発信に奮闘するJA筑前あさくらの取り組みを、ぜひ取材いただけますようお願い申し上げます。

「おすそわけ袋」のお披露目と朝倉産農産物の販売会について

日 時：7月3日（火）11～14時 福岡県庁1階ロビー

※当日は、制作に携わった JA 筑前あさくら担当者と中村学園大学流通科学部 手嶋准教授も参加して「おすそわけ袋」の利用を呼びかけます。

本件に関する問合せ先

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 入試広報部広報室 / 川口・島田

〒814-0198 福岡市城南区別府 5-7-1

TEL（直通） 092-851-2634 / FAX 092-851-2539

Mail kouhou@nakamura-u.ac.jp URL <http://www.nakamura-u.ac.jp>

JA 筑前あさくら 限定デザイン

「おすそわけ袋」

朝倉産果物・野菜のおいしさを
たくさんの人たちと分かち合おう♪

柿・桃・梨などを1~3個入れるのにちょうどいい大きさです



よかったら
食べてみて♪

ありがとう!

